

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 3 月 30 日

事業所名 はぐはぐ子ども村西都

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		その日の利用定員に合った環境作りをしている。	適切に管理している。
	2 職員の配置数は適切である	4		基準配置より多くなるようにしている。	現状維持。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	写真や絵、図を多用して視覚支援を取り入れている。	随時適切であるか見直している。トイレは車いすの方も対応できるようになった。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		毎日、職員間で情報を共有し改善に努めている。	各職員が意見を出し合える環境を作り、それぞれの分野での意見交換をしている。。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		去年の評価表を基に改善できるところはした。	ホームページにて情報公開する。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	公表している。	公開中。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	保護者評価をもとに改善すると頃は改善に努めている。 第三者による評価は無い。	これを機会に職員以外の意見を取り入れられるところは受け止め改善したい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		療育に必要と思われる研修に参加出来る体制を整えている。適宜参加している。	引き続き、それぞれの職員が参加した研修をベースにした共通理解をして療育の資質を高めている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		保護者、療育士、保育士等の観察や意見を聞き計画を作成している。	現状維持。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	見学の際、アセスメントを取り計画に役立てている。	今後も取り入れ継続をしていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		随時話し合いを持っている。	基本プログラムを基準に制作や季節に合わせた活動等の計画を全職員で行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		屋礼等で情報を共有している。	その時々々の状態に応じて職員間で話し合い活動プログラムが固定化しない様になっている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2		個々に合わせて設定している。	職員間で話し合い個々に合わせた活動を共有し、より良いものを考えて行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4		遊びの時間を利用したり個々に沿った支援をしている。	支援内容を話し合い支援に生かしている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		屋礼をして情報を共有している。	役割分担をして取り組み補えない時は次回にそれを持ち越さない様に協議している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		記録を残す中で職員間で話し、共有している。	必ず振り返りを行い、次の支援に生かせるよう共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		3つに大きく括りそれぞれにその日の記録を詳しく記録している。	記録の内容の見直しをしていき負担軽減につながった。これからも継続していく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		月別表を用いケース会議を行っている。	ケース会議の中で話し合い、支援目標を立て、職員間で共有し、判断している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2	行っている。	提供すべき支援内容に基づき個々の支援に必要な項目が支援計画には選択されているが、利用者保護者への周知を工夫していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	児発管・保護者・相談支援員・その他必要に応じて学校・保育園等参加している。	継続していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		随時報告が入ると職員間で共有している。	より素早い対応が出来るように連絡を密に取っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			医療的ケアの必要な子供がいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		書面にて行っている。	要望があれば面談をする体制を取っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	情報交換している。	今後も情報交換していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		同法人に自発センターがあり相談に乗って貰っている。	今後も相談していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	年2回のイベントにて利用者以外の参加もあるので機会は少ないがある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	代表者が行っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		お迎えの際、保護者との会話の中で理解をもつ。	今後もより話し、共通理解を深めていける環境を作っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		代表が行う。	代表が行っているペアトレの紹介を保護者に行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		玄関の目に付く所に掲示し、いつでも読めるようにしている。	契約時に行っているが、より丁寧に分かりやすく説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		話しやすい環境を作っている。	保護者からの相談があればその都度迅速に行っている。内容によっては専門家よりアドバイスを受け保護者の相談に反映している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	年に2回、全事業所や地域の方に声を掛け交流の場を設けている。	現状維持をする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		全職員に周知し、体制の整備とともに対応をしている。	保護者の対応には療育士とも連携を取り保護者の意見に傾けて迅速に対応している。保護者の要望があれば担当者会議を開いて対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月「お便り」を発行している。	毎月の「お便り」にて活動や、日々の活動等発信している。メールや電話でのやり取りで連絡等の情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	4		全職員に周知している。	細心の注意を払っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1	電話やメールでやり取りをしている。	電話やメールでのやり取りを丁寧にしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		書面を作り、招待した。	書面にて周知し、招待をしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		緊急時の避難場所・連絡等を書面にて保護者に知らせた。	保護者に対しての周知には説明の不足を感じているので改善していきたい。(防犯・感染症対応マニュアル等)
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		洪水・地震・火災の想定で避難訓練をしている。	各月地震・洪水・火事を想定して行っている。また「お便り」にて避難訓練の様子も発信している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		研修に参加した。	研修に職員が行き全職員に報告をし周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		契約書にて保護者に説明している。	出来るだけ無いように支援して行く。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2		アレルギーを引き起こす食物の種類・対処の方法等を保護者に聞いている。	保護者から聞き取り対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	職員間で話し合いを行い、共有し、事例を繰り返さないようにする。	ヒヤリハット集を作り全職員で周知している。